

1 PLAN(目的・概要)

一般事務事業 建設整備事業

事務事業の段階

計画  事業化  事業  管理

個07事10

政策名	1 グローバルロジスティクスの港	23年度事業・個別施策評価結果 (今後の取組みの方向性)			責任者	企画調整室 企画担当課長	
基本施策名	01 国際・国内海上輸送機能の強化	事務事業	成果	コスト	連絡先	052-654-7969	
個別施策名	07 ポートマーケティング機能を強化する				連携課		
事務事業名	10 経済・物流動向の調査分析	継続	拡大	維持	事業期間	平成21年度～継続	
目的	名古屋港の貨物動向を分析し、港湾の経営戦略につなげます。					根拠法令等	
概要	欧米や新興国など国内外の経済・市場動向及び物流動向について調査を行います。					実施義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
24年度の実施予定	名古屋港での新たな港湾経営戦略を検討するうえで必要となる経済や物流の動向について、インターネットによる情報収集や他の調査研究結果を使ってコストを抑えつつ、多角的な方向から調査分析を行い、分析結果については庁内ホームページ等を用いて情報共有を図るとともに庁外へも情報を公開していきます。					関連シート	



2 DO(実施)

24年度に実施した内容・結果	24年度は『東海地区の港湾整備の状況等について』、『港湾を取り巻く環境と名古屋港の今後の施策展開について』、『シェールガスの日本への輸入について』を取りまとめました。公表できる部分は庁外ホームページへの掲載を行います。						
コスト(年度)	単位	20(実績)	21(実績)	22(実績)	23(実績)	24(実績見込)	備考(款項目節等)
事業費計	千円		0	0	0	0	(款項目節)
一般会計	千円		0	0	0	0	
事業会計	千円						(算出計算式)
その他	千円						
人員費計	千円		429	2,120	3,017	3,486	
正規職員	人		0.05	0.25	0.35	0.40	(その他)
嘱託職員	人		0.00	0.00	0.00	0.00	
合計	千円		429	2,120	3,017	3,486	

3 CHECK(検証)

活動・成果 指標	年度	20	21	22	23	24	中間目標	24	備考(指標の算定方法など)
経済・物流動向取りまとめ回数(回)	目標		4	4	4	4		4	経済・物流動向を四半期ごとに取りまとめます。
	実績		2	2	2	3			
	達成率(単年度%)		50.0	50.0	50.0	75.0			
	達成率(累計%)		-	-	-	-			
	目標								
	実績								
	達成率(単年度%)								
	達成率(累計%)								
必要性・有効性・効率性の確認		判断理由 (課題の抽出)						その他特記事項	
必要性	どうしても必要な事業か?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ × □						世界経済が大きく変動する中、名古屋港での新たな港湾経営戦略を検討するうえで、経済や物流の動向を調査分析することは必要であると考えています。	
	利用者のニーズは高いか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ × □							
	本組合が関与する必要があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ × □							
有効性	目的や目標の水準は妥当か?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ × □						国際産業ハブ港を目指す名古屋港にとって、国内外の経済・物流動向について調査分析することは、実務に直結しており、非常に有効であると考えています。	
	目標を達成したか?	<input type="checkbox"/> ○ × <input checked="" type="checkbox"/> □							
	個別施策へ貢献したか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ × □							
効率性	最小のコストで成果をあげているか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ × □						将来の港湾経営および戦略を考えるうえで、本組合が主体となって実施する必要性は高いと考えています。	
	受益者に適正に負担させているか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ × □							
	効率的な運営主体となっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ × □							

4 ACTION(取組)

個別施策評価結果による今後の取組みの方向性	事務事業	成果	コスト	判断理由
	継続			調査分析の実施とその結果の有効活用を図る必要があるため。
個別施策評価結果を踏まえた来年度以降の取組み				
インターネットによる情報収集や他の調査研究結果などを使ってコストを抑えつつ、効率的な調査分析活動に努めます。また、調査分析結果については、庁内ホームページ等を用いて情報共有を図ると共に庁外へも情報を公開します。				